

Monthly Repo. **ならやま**

八木 順一

3月26日(木) 活動 晴れ 70名+1名

春本番を迎え、活動も佳境を迎える頃だ。しかし世界中を蚕食するコロナウイルスの影響もここならやまでも顕著になりつつあり、感染拡大の影が目立つようになる。約一か月ぶりの活動になったが、朝礼や終礼のほか、全員揃っての昼食も取りやめ。寂しい活動日となった。いつまでこんな状況が続くのだろうか。見学者1名。また午後からは四阿でならやま委員会開催。里山 G はシイタケの菌打ちと杉の皮むき、エコ G は夏野菜の種まきや畑へのチップ入れ、そして景観 G は第3駐車場の竹の処理を行う。またバイオ班は池の土かきや葦刈り、花班はアガパンサスの霜囲い撤去、パト G は1コースパトロールと観察路点検に取り組む。その他果樹班はユズやスダチの移植が中心となる。

4月2日(木) 活動 曇り 71名+1名

コロナウイルス感染拡大が止まらない。いつ収束するのだろうか。活動参加者は71名を数えるが、先週同様朝礼や終礼等も引き続き取りやめ。また本日は協働活動日。シイタケの菌打ち作業が行われる。見学者1名。午後からは図



録編集委員会と企画委員会開催。里山 G は協働活動や杉の皮むき、エコ G は葉菜撤去やチップ入れ、そして景観 G は協働活動のほか竹林整備を行う。またバイオ班は池の泥かき、花班はアガパンサスの草引き、そしてパト G は2コースパトロールと階段修理整備、果樹班はヤブツバキやイチジクの移植と果樹の苗木の植え付けに取り組む。

4月9日(木) 活動 晴れ 65名

うららかな一日だ。しかしコロナウイルス早期収束の願いもはるかに遠のき、参加者の顔も不安でいっぱいだ。ならやまでもこれからの活動についての諸課題について、早速委員会が開かれる。また、遅れていたタケノコの収穫が始



まり、今年初めての販売になる。大豊作で会員の顔もニコニコ顔だ。今晚あたり各家庭の食卓にタケノコご飯があがるのではないだろうか。里山 G は佐保自然の森の駐車場整備、エコ G は落花生畑の畝つくりと播種、そして景観 G と果樹班はタケノコ掘りを行う。またバイオ班はスイレン池の泥除去、花班は花ショウガの刈り取り、パト G は階段修理と安全ロープ張りに取り組む。